

多根第二病院

2022 年度年報

目次

病院概要	2
診療部	3
看護部	4
リハビリテーション科	4
放射線科	5
医療生活相談室	7
栄養科	7
薬局	9
事務部	11
資格一覧	12
学会発表	12

〒550-0021 大阪市港区築港 3-4-25

TEL : 06-6559-1212 (代表) FAX : 06-6559-1213

交通 :

電車 大阪メトロ中央線大阪港駅下車徒歩 3 分

大阪シティバス

大阪駅前より (88) 天保山行 築港 1 丁目下車徒歩 3 分

なんば駅前より (60) 天保山行 築港 1 丁目下車徒歩 3 分



(写真の 3 階～6 階が多根第二病院病棟)

【病院概要】

院長	安部 嘉男
開設日	1986 年 (昭和 61 年) 8 月
病床数	216 床
標榜科目	内科／脳神経内科／リウマチ科／リハビリテーション科／放射線科
土地・建物 (㎡)	敷地面積 3,568.04 ㎡ 延床面積 専用部 5,743.01 ㎡ + 共用部 2,016.68 ㎡
基準関係	3 階・4 階・5 階・6 階 (各 54 床 × 4 病棟) 療養病棟入院基本料 1 / 診療録管理体制加算 2 / 療養病棟療養環境加算 1 / 医療安全対策加算 2 / データ提出加算 / 認知症ケア加算 / 薬剤管理指導料 / 脳血管疾患等リハビリテーション料 (II) / 運動器リハビリテーション料 (II) / CT 撮影及び MRI 撮影

(2023 年 3 月現在)

◆診療部

【部署概要】

多根第二病院および多根介護老人保健施設てんぼーざんは、主に多根総合病院で急性期治療を、多根脳神経リハビリテーション病院で回復期治療を終えた方で、なお医療必要度および介護ニーズが高く長期にわたる療養が必要な方に安心・安全な医療や医療的ケアを提供し、医師による医学的管理の下、看護師・介護士・リハビリ療法士・栄養士・薬剤師・医療ソーシャルワーカー等、多職種協同による専門的な管理を通じて、自立支援・社会復帰を強力に推し進めるための施設です。いずれも 24 時間の看取り・ターミナルケアにも対応しています。

<第二病院 入院病棟>

入院設備は医療療養型病棟（医療保険適応）が 4 病棟（3 階、4 階、5 階、6 階）計 216 床あります。長期にわたる療養が必要な方へ、継続的医療ならびに医療的ケアを提供しています。また診療報酬はすべて包括医療となっています。

<介護老人保健施設てんぼーざん 入所療養棟>

入所設備は 7 階と 8 階にそれぞれ 50 床ずつ計 100 床あり、特に 8 階は認知症専門病棟となっています。介護を必要とする高齢者（要介護 1～5）の自立を支援し、家庭への復帰を目指すために、医師による医学的管理の下、看護・介護といったケアはもとより、作業療法士や理学療法士等によるリハビリテーション、また、栄養管理・食事・入浴などの日常サービスまで併せて提供しています。

<第二病院 外来診療>

内科、脳神経内科、リウマチ科の外来診療を行っています。

<介護老人保健施設てんぼーざん 通所リハビリテーション>

要介護ならびに要支援患者様を対象に、機能回復に重点を置いた医学的管理下でのデイケアすなわちリハビリテーションサービスを中心に提供しています。

【診療・部署体制】

多根第二病院・多根介護老人保健施設てんぼーざんでは、2022 年度 5 名体制ではじまり、2023 年 4 月に医師 1 名の参入があり実質 6 名体制となっております。新型コロナウイルス感染症によるクラスター発生という惨禍にも見舞われる中、各部門の並大抵ではない献身的努力と多根総合病院医局の協力を得て、診療継続ができました。多根介護老人保健施設てんぼーざんには実質 1 名の医師が配置されています。両施設協力体制のもと、患者様のニーズに呼応した医療提供体制を維持しています。

【特色・トピックス】

医師や看護師等の医療スタッフはきわめて限られていますが、総合病院、脳神経リハビリテーション病院の後方支援施設としての役割を果たすべく、脳神経疾患はもとより、高齢者を悩ます多傷病のすべてに急性期から慢性期まで幅広く対応して ADL・QOL の向上を目指しています。

また、総合病院及び脳神経リハビリテーション病院から患者受入れを、さらに円滑に速やかにするため、対象患者の予備回診、総合病院入院早期からのカルテ情報共有、現在の主治医・看護部・MSW との事前話し合い、情報交換などに積極的に取り組んできました。2017 年 6 月からは SSI 社の電子カルテが導入されています。また、2020 年秋より呼吸・循環動態の不安定な患者様を対象とした、常時監視モニタリングシステム（SAT-MeSSAGE）を導入。2021 年度には各病棟、末梢端末 5 機の拡充導入を行い、患者様の安全管理の向上に努めています。

◆看護部

【部署概要・体制】

看護単位：4病棟（1病棟54床、3階～6階：計216床）
外来：標榜：神経内科、内科、リウマチ科、リハビリテーション科
1日平均外来患者数：0.2人/月
看護方式：固定チームナーシング
勤務体制：2交替
人員配置：療養病棟入院基本料Ⅰ 20：1（医療法4：1）
看護職員：看護師・准看護師 60名、ナースエイド（看護補助者）52名
メディカルクラーク 1名
医療区分2・3割合：平均96%
認知症ケア加算2：該当患者 142人/月平均（4病棟）

【特色・トピックス】

- 1.大阪府看護事業功労者表彰：外塚 安代
- 2.大阪府看護協会主催認定看護管理者教育課程ファーストレベル1名：岡本明奈
- 3.大阪府看護協会主催医療安全管理者養成研修1名：東明子
- 4.社会医療法人きつこう会看護部院内認定コース
認知症看護1名：中野桂子、褥瘡予防・管理1名：田原理恵子、
ELNEC-J コアカリキュラム1名：南麻由美、
摂食・嚥下障害看護5名：東明子、登尾亜希、高岡彩、廣田美香、山本順子
- 5.ナースエイドTQM発表会（4題）
- 6.看護学校への講師派遣 2名
- 7.臨床実習の受け入れ3校

【診療・部署実績】

- 1.看護部目標に対する評価
 - 1) 部署の中間評価（10月）
 - 2) 部署の最終評価（3月）
- 2.看護部委員会の成果発表（3月）
- 3.看護部委員会主催の勉強会（対象：看護師・准看護師・ナースエイド）
- 4.看護部管理基準、病棟管理基準、病棟管理手順の作成と運用
- 5.看護手順の見直しと新規作成
- 6.看護補助手順の見直しと新規作成

◆リハビリテーション科

【部署概要】

療養病棟は急性期医療終了後に病状が比較的安定しているが、引き続き医学的管理下で生活介助やリハビリによる機能的訓練を継続的に行い、在宅復帰を支援する病棟である。

療養病棟の特性上、長期臥床となる患者が多くいるが積極的に離床を促しながら、可能であれば多職種で連携して在宅や施設への退院を支援している。また、チームアプローチにおけるリハビリ専門職として、ベッドや車椅子のポジショニング設定や起居動作の介助方法について助言、指導している。

【診療・部署体制】

- ・医療療養病棟（216床）医療保険適用
施設基準 脳血管リハビリⅡ、運動器リハビリⅡ、廃用リハビリⅡ
- ・理学療法士3名、作業療法士1名が月～金の各曜日対応している。

【特色・トピックス】

- 患者のリハビリ実施業務以外に以下の取り組みを行っている。
- ・多職種（医師、看護師）にてリハビリカンファレンスを開催し、情報の共有化を促進する。
- ・医療安全研修（年2回）や看護部勉強会での講演を行う。

【診療・部署実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
脳血管リハ	372	362	513	465	481	424	343	330	394	335	375	483
運動器リハ	130	105	75	109	124	108	128	92	54	56	62	99
廃用リハ	629	557	672	554	532	682	768	807	809	640	605	643
合計	1131	1024	1260	1128	1137	1214	1239	1229	1257	1031	1042	1225

◆放射線科

【部署概要】

- 【スタッフ紹介】
松田 泰宏：診療放射線技師

【診療・部署体制】

- 【撮影機器について】
一般撮影装置1台、移動用X線撮影装置（ポータブル）1台、全身用MDCT1台

【特色・トピックス】

当施設では高齢の利用者が多いため、ポータブル撮影の割合が非常に高くなっています。なお、X線撮影室で胸部写真を撮る際には高齢の利用者が多いのを考慮して、利用時に負担がかからないよう、座ったままで撮影できる車椅子を準備しています。

CT検査についても、楽に検査が受けられるよう、息止めをせず、手を頭の上に挙げずに身体の横におろしたままで胸腹部CT検査が出来るプログラムもあります。

ポータブル撮影時、カセットに背骨が当たって痛くない様に、間にバスタオルなどを敷いて苦痛をできるだけ少なくする様努力しています。

硬縮の強い患者様の撮影では抑制帯などは使用せず、技師自らの手で引っ張り、撮影目的部位が観察しやすい画像を提供する様努力しています。

2017年6月より電子カルテがスタートしましたが、機器との接続も完了し、患者情報を直接電子カルテからいただいていますので患者情報の入力間違いはありません。

【診療・部署実績】

	外来			3階				4階				5階			
	一般	CT	合計	一般	P	CT	合計	一般	P	CT	合計	一般	P	CT	合計
2022年4月	0	0	0	3	37	6	46	4	40	10	54	7	38	20	65
2022年5月	0	0	0	3	56	22	81	3	54	12	69	1	40	13	54
2022年6月	0	0	0	3	60	14	77	2	60	15	77	2	39	18	59
2022年7月	0	0	0	4	56	13	73	2	78	18	98	2	56	16	74
2022年8月	0	0	0	2	63	19	84	2	61	21	84	0	67	8	75
2022年9月	1	0	1	0	63	12	75	0	58	6	64	1	36	14	51
2022年10月	0	0	0	1	45	10	56	0	55	12	67	0	77	10	87
2022年11月	0	0	0	0	43	18	61	0	54	14	68	0	42	9	51
2022年12月	0	0	0	1	55	18	74	0	60	11	71	2	57	19	78
2023年1月	0	0	0	0	77	21	98	0	63	12	75	2	66	15	83
2023年2月	0	0	0	1	62	15	78	2	60	8	70	0	72	9	81
2023年3月	0	0	0	2	70	10	82	2	51	12	65	0	69	14	83
合計	1	0	1	20	687	178	885	17	694	151	862	17	659	165	841
月平均	0.1	0.0	0.1	1.7	57.3	14.8	73.8	1.4	57.8	12.6	71.8	1.4	54.9	13.8	70.1

	6階				7階				8階				合計			
	一般	P	CT	合計	一般	P	CT	合計	一般	P	CT	合計	一般	P	CT	合計
2022年4月	2	40	11	53	3	4	0	7	0	0	1	1	19	159	48	226
2022年5月	4	50	16	70	1	5	1	7	0	1	0	1	12	206	64	282
2022年6月	3	42	10	55	2	2	0	4	1	4	1	6	13	207	58	278
2022年7月	5	52	17	74	4	1	1	6	1	3	1	5	18	246	66	330
2022年8月	1	55	10	66	2	0	1	3	2	3	1	6	9	249	60	318
2022年9月	0	62	24	86	2	3	0	5	0	5	0	5	4	227	56	287
2022年10月	1	50	10	61	0	3	0	3	1	1	1	3	3	231	43	277
2022年11月	0	41	18	59	0	1	0	1	0	1	0	1	0	182	59	241
2022年12月	0	52	16	68	1	2	0	3	0	0	1	1	4	226	65	295
2023年1月	1	62	9	72	3	7	0	10	1	2	2	5	7	277	59	343
2023年2月	2	66	6	74	3	6	1	10	1	5	2	8	9	271	41	321
2023年3月	2	73	6	81	3	1	0	4	1	1	1	3	10	265	43	318
合計	21	645	153	819	24	35	4	63	8	26	11	45	108	2746	662	3516
月平均	1.8	53.8	12.8	68.3	2.0	2.9	0.3	5.3	0.7	2.2	0.9	3.8	9.0	228.8	55.2	293.0

【次年度方針・将来展望・目的・目標】

CTの予約の振り分けなどを適切に行い、件数を増やせていけたらと考えます。

CTの予約時間を決めずに各病棟の都合のよい時間に電話を頂いて撮影する様にしていきます。

一般撮影装置やCR装置はメンテナンス契約を行っていませんので、なるべく故障しないように自分で出来る日々のメンテナンスを確実に行っていきます。

CTの時の搬送なども積極的に手伝っています。搬送時のインシデント発生には特に気をつけて、これからも続けていきたいと考えています。

◆医療生活相談室

【部署概要】

第二病院、てんぼーざんにおける相談、利用調整を行っている。相談受付時には第二病院・てんぼーざんどちらの対象か明確ではないことや、利用調整の途中で対象施設が変更となる場合もあるため、業務内容については第二病院・てんぼーざん双方を含んだ内容となる。

主な業務内容は、入院・入所・ショートステイの利用調整（相談受付からサービス利用に至るまでの調整過程全てを含む）、退院・退所調整等である。

【診療・部署体制】

てんぼーざんの業務と兼務して4名体制で行っている。

【特色・トピックス】

昨年度からのベッドコントロールセンターの稼働により、総合病院の相談から受け入れまでのスピードが速くなった。コロナ罹患後の療養、在宅調整目的、医療区分がなく、介護保険なし、または要支援のため老健入所不可などの患者の相談が増え、人工呼吸器装着された患者の受け入れもあり、総合病院からの入院件数が195件（2020年度103件、2021年度126件）と大幅に増加した。他院・他施設からの入院件数も48件（38件、17件）と増加した。転帰として、自宅30件（8件、15件）や他院・他施設への退院34件（11件、7件）と退院調整が必要な患者が大幅に増えた。

新規入院件数が昨年比1.7倍、退院件数が1.5倍（自宅・他院他施設退院は1.9倍）であり、加えて総合病院からの帰院調整もベッドコントロールセンター稼働以降、業務に加わっている。

【診療・部署実績】

2022年度実績

入院相談：567件（老健含む）

新規入院：254人

退院：252人（死亡164人、自宅30人）

◆栄養科

【部署概要】

〔栄養管理業務〕

入院患者一人ひとりに対し栄養スクリーニング・アセスメントを実施、栄養管理計画書（栄養補給方法、栄養量、嚥下機能に合わせた食形態など）を作成し、定期的にモニタリングを行っています。病棟訪問では、個々の患者に合わせた、食事栄養相談を行っています。

〔給食管理業務〕

老健てんぼーざんと併設のため同一厨房にて全ての食事を調理しています。温冷配膳車を使用し、適切な温度で食事を提供しています。旬の食材を使用し季節を感じられる献立を心がけ、月に数回行事食を提供し食事を楽しんでいただけるよう努めています。

【診療・部署体制】

〔栄養管理業務・給食管理業務〕

・管理栄養士2名

〔給食管理業務〕

・委託給食（日清医療食品株式会社） スタッフ 管理栄養士2名、調理師5名、調理員12名

【特色・トピックス】

- 1、栄養管理計画書の作成
- 2、経口移行・経口維持を多職種で取り組み、ミールラウンド及びカンファレンスを実施
- 3、栄養指導、栄養相談の実施
- 4、栄養管理委員会の開催
- 5、行事食、イベント食、郷土料理の実施
- 6、感染管理委員会、ICT委員会、褥瘡対策委員会、MRM委員会、防災検討委員会、摂食嚥下支援委員会、ACP推進委員会への参加
- 7、港区食品衛生協会栄養士部会への参加
- 8、濃厚流動食、栄養補助食品の見直し及び導入
- 9、栄養科だよりの作成、掲示（各フロア）

【診療・部署実績】

食種別食事提供数 2022年度(単位 食)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常食	708	585	521	476	647	675	728	544	706	679	610	541
きざみ食	1,277	1,390	1,481	1,227	1,173	1,216	1,316	1,310	1,302	1,203	1,055	1,283
ペースト食	943	1,143	1,109	1,248	1,127	1,094	1,086	900	903	1,036	1,038	1,318
嚥下食	621	602	627	759	834	687	595	757	1,053	1,052	760	1,097
軟菜食	905	1,015	911	942	1,081	1,079	926	718	664	675	722	550
糖尿食	340	321	468	777	823	937	1,004	978	815	834	739	560
心臓食	90	74	53	57	0	0	66	60	104	203	139	93
心糖食	90	93	90	4	0	0	0	0	0	77	78	0
腎臓食	267	197	228	186	257	270	279	270	287	463	368	280
肝臓食	0	19	0	24	0	76	93	90	93	93	84	168
低残渣食	180	187	131	93	27	0	0	0	0	14	84	19
濃厚流動食	8,797	9,341	9,120	8,784	8,653	8,705	8,878	8,377	9,081	9,688	8,704	9,334
計	14,218	14,967	14,739	14,577	14,622	14,739	14,971	14,004	15,008	16,017	14,381	15,243

行事食・イベント食

4月	お誕生日メニュー	ちらし寿司(サーモン)
	お花見会	お花見弁当
5月	郷土料理	とまとカレー(埼玉県)
	郷土料理	かつおのたたき(高知県)
	お誕生日メニュー	ちらし寿司(まぐろ)
	八十八夜	お茶プリン
6月	こどもの日	こいのぼりゼリー
	お誕生日メニュー	花型寿司(えび)
	季節のデザート	さくらんぼゼリー
	季節のデザート	あじさいゼリー
7月	お誕生日メニュー	ちらし寿司(うなぎ)
	七夕	七夕そうめん、お星様ゼリー
	土用の丑の日	鰻の蒲焼き
8月	お盆献立	茶そば御膳
	ワンプレートランチ	ワンプレートランチ
	お誕生日メニュー	ちらし寿司(鰻)
9月	十五夜	月見そば、月見饅頭
	郷土料理	サバの竜田揚げ、のっぺ、飛鳥汁(奈良県)
	お誕生日メニュー	ちらし寿司(鮭)
10月	敬老の日	赤飯御膳
	お誕生日メニュー	ちらし寿司(うなぎ)
	郷土料理	ほうとううどん(山梨県)
11月	ハロウィン	かぼちゃプリン
	お寿司フェア	にぎり寿司
	おこやか祭り	たこ焼き
12月	お誕生日メニュー	ちらし寿司(まぐろ)
	郷土料理	治部煮(石川県)
	お誕生日メニュー	ちらし寿司(サーモン)
	クリスマス	オムライス、鶏の唐揚げ、クリスマスケーキ
1月	クリスマス	ミートボールシチュー
	大晦日	年越しそば
	お正月	おせち料理
2月	お誕生日メニュー	花型寿司(鮭)
	郷土料理	山賊焼き(山口県)
	節分	助六寿司、わたようかん
3月	お誕生日メニュー	ちらし寿司(えび)
	バレンタインデー	チョコレートプリン
	ひなまつり	ひなちらし寿司、三色ケーキ
	郷土料理	チキン南蛮(宮崎県)
お誕生日メニュー	ちらし寿司(まぐろ)	
	お寿司フェア	にぎり寿司

◆薬局

【部署概要】

調剤業務、注射業務、医薬品情報管理業務、薬剤管理指導業務、医薬品管理業務を中心に医薬品の安全管理と適正使用を促進する業務を行っている。

〔方針・目標〕

1. 医薬品情報を加味した安全かつ安定な医薬品供給に努める。
2. 医師の処方に基づき、患者様の薬物療法に貢献する。
3. 他部門との連携を進めながら、業務の効率化を図る。
4. 診療報酬関連の業務の実施と適正な算定について努力する。
5. 医薬品費の抑制として、後発医薬品の採用促進に努める。

【診療・部署体制】

〔スタッフ〕

薬剤師 4名（1名は「多根老人保健施設 てんぽーざん」兼務）

事務 1名

〔調剤業務〕

入院処方箋枚数 月平均 2469.8枚

〔注射業務〕

入院注射箋枚数 月平均 1687.3枚

〔医薬品情報管理業務〕

医薬品情報の収集・管理、関連部署への薬剤情報の提供、副作用情報・緊急安全性情報の提供、主な採用医薬品の錠剤識別表の配布、薬剤部ニュース発刊、院内医薬品集発刊

〔薬剤管理指導業務〕

医師の薬剤管理指導指示書に基づき薬剤管理指導を行い、患者様が安心して安全に納得して薬物療法を受けられるように心がけている。

全ての入院患者様の持参薬を鑑別報告している。

薬剤管理指導対象外の患者様についても、退院時「お薬説明書」を作成し、交付している。

指導患者数 月平均 23.5名 薬剤管理指導料請求件数 月平均 75.6件

〔医薬品管理業務〕

在庫数、保管状況、使用期限の管理を行っている。

病棟配置薬に関しても、月1回確認している。

【特色・トピックス】

- ・2010年1月よりすべての長期入所者様に一包化調剤を行っている。
- ・2007年10月より、輸液の処方（単品を含む）について、注射薬ラベルを薬局で作成し、注射薬の交付時に注射薬とともに交付している。
- ・2011年8月より、アンプルなどの単剤についても交付している。
- ・2012年4月より、医療生活相談室からの要望により老健入所判定会の資料として処方薬を鑑別し、当院採用の代替医薬品と薬剤費の概算を報告している。
- ・2013年3月より、定期処方の開始曜日を全病棟「木曜日」に統一した。
- ・2014年6月より、注射薬の交付について処方ごとにアンプル・バイアルをセットしている。
- ・2015年4月より、従来 栄養料が注入食に添付していた補正用の食塩を看護部門からの要望を受けて薬局から定期処方と共に交付している。
- ・2017年6月より、電子カルテの可動により薬剤業務がシステム化された。（医薬品在庫管理を除く）
- ・2018年12月より、毒薬及び覚せい剤原料については、病棟・薬局双方で確認（押印）して交付している。
- ・2019年6月、災害時の備蓄として、下記医薬品を5F,6F病棟に分割して設置した。

(多根第二病院・てんぼーざん兼用)

ソルラクト輸液 500ml 20袋×4箱

ソルデム 3AG 輸液 500ml 20袋×4箱

50%ブドウ糖注射液 20ml 50A×1箱

- ・2021年コロナ禍において、コロナウイルス RNA ワクチンの希釈・分注を行っている。
- ・2022年 条件付き BOX を作成し、病棟での頓服薬の在庫の効率化を図った。

【診療・部署実績】

〔後発医薬品採用率〕

後発医薬品のある先発医薬品に対する後発医薬品採用率（品目数）：84.4%

〔処方箋枚数・調剤件数〕

第二病院 薬局

〔処方箋枚数・調剤件数〕

	処方箋		注射箋枚数	
	枚数	件数	入院	外来
2022年4月	2,296	4,031	1,302	0
5月	2,327	4,088	1,483	0
6月	2,699	4,808	1,503	0
7月	2,435	4,196	1,833	0
8月	2,437	4,242	1,771	0
9月	2,443	4,748	1,636	0
10月	2,349	4,196	1,543	0
11月	2,273	4,107	1,541	0
12月	2,712	4,980	1,786	0
2023年1月	2,489	4,458	1,876	0
2月	2,481	4,588	1,737	0
3月	2,697	5,170	1,877	0
合計	29,638	53,612	19,888	0
月平均	2,469.8	4,467.7	1,657.3	0.0

〔薬剤管理指導件数〕

	指導患者数	指導件数	請求件数
2022年4月	21	66	66
5月	22	70	73
6月	23	73	73
7月	22	69	72
8月	23	59	60
9月	28	94	95
10月	30	104	105
11月	32	102	102
12月	22	74	75
2023年1月	19	59	60
2月	21	63	62
3月	19	64	64
合計	282	897	907
月平均	23.5	74.8	75.6

◆事務部

【部署概要】

事務部は、多根介護老人保健施設てんぼーざんの管理部業務内容を兼任して事務部門及び施設管理を担当しています。内容として、窓口業務及び保険請求業務、管理統計資料作成、経営指標資料作成等以外にも、患者や利用者の搬送および送迎業務、施設管理も行っています。

病院の入院病棟施設基準として、移転開設した2000年から運用していた介護保険適用下の介護療養病床は昨年の9月末で終了したため、216床全てが医療保険適用下の医療療養病床となっています。

大都市の中にある慢性期療養施設として、高齢者の方や長期療養を必要とする方に対し少しでも安心して療養を受けていただけるよう、心がけています。

【診療・部署体制】

多根第二病院と多根介護老人保健施設てんぼーざんの兼務として、部長1名、課長1名、係長1名、部員5名の8名体制にて行っています。

【特色・トピックス】

多根第二病院は慢性期医療を提供している病院です。事務部は其中で、老健業務を兼務しながら受付から保険請求、そして施設管理などその範囲は広く行っています。入院患者のほとんどが高齢者で、そして長期となっている中、他の職種と協力してより良いサービスを提供できるように心がけています。また患者本人とのコミュニケーションが難しい分を家族といかに取りかにも気をつけています。

【診療・部署実績】

		3階	4階	5階	6階	計		
長期入所	入院者数（新規入院者）	名	100	69	71	76	316	
	退院者数	名	104	69	63	81	317	
	在院者延日数（延人数）	日	17,324	17,837	17,120	17,713	69,994	
	平均在院日数	日	169.8	258.5	255.5	225.6	221.2	
病床利用率			87.9%	90.5%	86.9%	89.9%	88.8%	
1日当り			47.5	48.9	46.9	48.5	191.8	
入院	入院経路	総合病院	名	79	55	62	67	263
		他院	名	20	12	7	9	48
		併設老健	名	1	1	1	0	3
		他施設	名	0	0	0	0	0
		外来	名	0	0	0	0	0
		自宅	名	0	1	1	0	2
退院	退院経路	総合病院	名	27	15	24	14	80
		他院	名	4	0	0	2	6
		併設老健	名	3	1	1	2	7
		他施設	名	15	10	8	9	42
		死亡	名	53	38	27	46	164
		自宅	名	2	5	3	8	18

【資格一覧】

施設：	多根第二病院	部署：	看護部
人数	資格		
1名	認定看護管理者		
1名	認知症看護認定看護師		
2名	特定行為看護師		
3名	介護支援専門員		
施設：	多根第二病院	部署：	薬局
人数	資格		
2名	認定実務実習指導薬剤師		
施設：	多根第二病院	部署：	栄養科
人数	資格		
1名	大阪糖尿病療養指導士		
1名	フードスペシャリスト		

【学会発表】

【学会発表】

施設： 多根第二病院

部署： 看護部

会名称	第30回 日本慢性期医療学会		
発表テーマ	特定看護師の活動に関する実態調査 ～病棟看護師が特定看護師に求めること～		
日時	2022.11.17	発表者	岡本 明奈
場所	京都国際会館		

【学会発表】

施設： 多根第二病院

部署： リハビリテーション科

会名称	第21回大阪病院学会		
発表テーマ	標準的算定日数超えのリハビリテーションの運用開始に伴う現状と課題について ～在宅復帰率に着目して～		
日時	2022.11.17	発表者	田之上 将大
場所	オンデマンド配信		

社会医療法人きつこう会